

●●●会長あいさつ●●●

同窓の素晴らしい仲間と交流を深め、
母校のさらなる発展をご支援ください!

会長 吉永 洋一(工機13期)



陽春の候、皆様におかれましては、ご健勝にお過ごしのことと存じます。機械工学科同窓会は、本年もまた優秀な新会員をお迎えすることが出来ました。皆様とともども心よりお慶び申し上げます。

さて、この1年間を振り返ってみますと、ノーベル賞では、

医学・生理学賞に本庶 佑氏が選ばれました。この分野5人目の受賞です。日本の学術レベルの高さが評価され、我々の励みとなっております。

一方、昨年は非常に災害の多い年で残念でした。関西地域では、6月に大阪府北部地震、7月は西日本集中豪雨、9月には大型台風21号が上陸、関西空港は高潮で浸水、全面閉鎖になるなど大変でした。また世界では、米国のトランプ大統領が自国優先の政策を掲げ、英国も欧州連合(EU)からの離脱に動き、これまでのグローバルを意識した世界から、ローカルイズムへと舵が切られました。世界の均衡の構図は新たな局面に入ったようです。

平成バブル崩壊後、我が国の産業界は苦しい状況が続いています。海外展開を目指してきた日本にとって、中国を中心とする近隣アジア諸国との競合に苦戦しています。これからはますます「ものづくり」の中身が問われます。情報化社会を迎えた現在、AIの活用を含め、新たな日本の「ものづくり」で、さらに世界をリードしたいものです。

昨年11月、久しぶりに大阪府立大学 校友会のホー

ムカミングデーに参加しました。白鷺門から入ると、多数の校舎が建ち並ぶ広いキャンパスの中、元気一杯の男子学生や女子学生達が、子供連れの一般市民を上手に誘導・案内しながら、賑やかに大学祭を盛り上げていました。記念講演会が開催された学術情報センター大ホール(Uホール白鷺)も立派な建物でした。諸先輩方の不断の努力により、府立大学系の合併・統合を経て、今日を迎えることができたことに改めて感謝申し上げます。

最近、新聞などでも報じられていますが、大阪府立大学と大阪市立大学の統合計画が進められています。統合のビジョン、統合の効果、そして統合の手順なども明確化されつつあります。同窓会を取り巻く環境も変化してくるものと推測されます。

以上のような背景のもと、機械工学科同窓会は、校友会に単位同窓会として参画し活動しています。総会および理事会を開いて、同窓会の運営などについて常に話合っています。また懇親会を開催し、会員相互の交流を地道に深めて参りました。会報にも報告していますように、本同窓会ではこれからも学生の研究論文の海外発表なども支援し、本学の研究型大学の位置づけに少しでも貢献できればと考えております。また、一昨年から続けております情報交流サロン会などを通して、同窓生の交流の輪をさらに拡げて頂ければと願っています。

それでは、皆様のご参加と忌憚のないご助言、ご支援により機械工学科同窓会をさらに育てて頂くことをお願い申し上げますと共に、皆様方のご活躍とご健勝をお祈りして、ご挨拶に代えさせて戴きます。

第25回定時総会・第5回情報交流サロン会 開かれる

第25回定時総会が、平成30年6月17日(日)午後2時30分より、本学学術交流会館多目的ホールで開催された。多くの同窓生の方々に出席していただき、約20名の出席者であった。

まず、藤田勝久会長より開会の挨拶があった。その後、下記の議題の審議に入った。

1. 役員交代の承認と紹介

藤田勝久会長の退任と吉永洋一理事の会長就任を含む理事の新任・退任・交代に関する12件の報告があり、承認された。また、藤田勝久前会長の名誉会員への推薦についての報告があり、承認された。吉永洋一新会長から挨拶があった。

2. 2016年度、2017年度事業報告

過去2年間の事業について事業報告があり、承認された。

3. 2016年度、2017年度会計報告および会計監査報告

過去2年間の会計処理に関する報告並びに監査報告があり、承認された。

4. 2018年度、2019年度事業計画

これからの2年間の活動計画につき提案があり、承認された。

第5回情報交流サロン会が午後3時30分より、同会場にて開催された。

題目:「これからのパーソナルモビリティと福祉機器」 講演者:(工機52-H16)中川智皓氏

その後、恒例の懇親会が学術交流会館ロビーで盛大に開催された。同窓会総会・情報交流サロン会・懇親会にご出席いただいた同窓生の方々に、深く感謝申し上げます。

専務理事 大多尾義弘、菊田久雄

大阪府立大学国際交流事業 日中台3大学機械工学合同シンポジウム 記念集合写真



2018年11月28日～12月1日 (大阪府立大学、中国福州大学、台湾国立海洋大学)

平成30年度の動向

機械系専攻機械工学分野
平成30年度主任 教授

瀬川 大資

学生について:

機械系学類入学生 (1年生) 150名
機械工学課程配属学生 (2年生~) 60名
編入学生 (3年生) 一般2名、福州大学留学生4名
卒業研究履修生 (4年生) 84名
博士前期課程1年生52名
博士前期課程2年生56名
博士後期課程4名

学類入学生のうち、卒業に必要な1年配当科目を30単位以上修得した学生の約50%が、機械工学課程に配属されることとなります。本年度の配属学生には、3年生で配属された1名を含みます。本年度の福州大学からの編入学生のうち1名は、新しい生活での違和感が解消されず、残念ながら半年で帰国しました。昨年度の福州大学からの編入学生5名は全員進学し、卒業研究に取組みました。

進路も、引続き順調に決まりました。福州大学編入学生4名も含め、卒業研究履修生の約80%が博士前期課程に進学予定です。また、博士前期課程2年生のうち3名は、博士後期課程に進学予定です。就職希望者はほぼ全員が、内定式までに就職先を決めました。先輩方のご支援に感謝申し上げます。また、引続き温かいご支援をお願い申し上げます。

教員について:

教授11名、准教授8名、講師3名、助教5名

福田弘和先生、新谷篤彦先生が教授に、中川智皓先生が准教授に昇任されました。福田先生にはバイオ生産システム工学の分野で、新谷先生、中川先生には、機械力学の分野で引続きご活躍いただいています。また、山崎晴彦先生が助教として着任されました。環境保全学の分野でご活躍いただいています。

なお、助教のうち4名は任期付きで、さらにその2名はテニュアトラック助教です。

大多尾義弘先生は、本年度で定年を迎えられます。機械設計工学の分野での永きにわたるご功績に敬意を表しますとともに、韓国金烏工科大学からの留学生受入れも含め、多岐にわたる分野へのご貢献に感謝申し上げます。今後のご健勝とご活躍を祈念申し上げます。

行事について:

入学式、新入生・在校生オリエンテーション
(~4月上旬)

出張講義・福州大学 (4月上旬)

編入学試験・一般 (6月上旬)

大学院入学試験・前期口述 (7月下旬)

オープンキャンパス (8月上旬)

大学院入学試験 (8月下旬)

編入学試験・福州大学 (8月下旬)

日中台シンポジウム

(Joint Sympo. on Advanced Mech. Sci. & Tech.)
(11月下旬)

3年生工場見学 (12月上旬)

博士前期課程1年生発表会 (1月上旬)

大学院入学試験・第2次募集 (2月下旬)

修士論文・卒業研究発表会 (2月下旬)

大学入学試験 (3月上旬)

修了式 (3月下旬)

【製造品目】 ●ステンレス(溶接管・条鋼・加工品) ●溶接鋼管(普通鋼) ●機械(パイプ切断機など)

MORY モリ工業株式会社

相談役(前社長) 森 明信 (府大 機械 昭29卒)

本 社 大阪市中央区難波5-1-60 なんばスカイオ22階
電話 (06)6635-0201(代表) <http://www.mory.co.jp/>
河内長野工場 河内長野市楠町東 1615 番地(南海高野線 千代田駅前)
電話 (0721)54-1121(代表)

就職・進学等の進路状況について

機械工学分野就職担当 教授 大多尾 義弘

学域制もすっかり定着した感があり、平成30年度は第4回目の学域生卒業となりました。今年度は、表1のように課程学生の卒業予定者の87%が大学院に進学し、8名の学生が企業へ、1名が公務員・教員への就職が内定しました。また博士前期課程の大学院生については、3名が後期課程に進学し、50名が企業へ、2名が公務員・教員への就職を内定しました。

経団連に加盟している企業の今年度の採用・就職活動のスケジュールは、昨年度から変更はありませんでしたので、学生側だけでなく企業側にとっても混乱なくスムーズに進んだように感じられました。企業求人への正式な広報活動開始は昨年同様3月開始、採用選考活動の開始は6月からとなっておりますが、多数の企業は年初めからインターンシップや説明会を設けており、3月早々からマッチングやインターンシップ等の名目で事前選考が行われているようです。従いまして6月以降の採用選考は形式的なものとなっている感が致します。ただし、しっかりと経団連のルールを守られている企業もあります。

内定率について見ますと、昨年度までは学

校推薦を受けた学生の内定率が徐々に下がっていましたが今年度は昨年度と同じ程度でした。また、本年度の自由応募での内定者率は約32%であり、昨年度の約43%より少なく、一昨年度の約28%より少し多めでありました。やはり学校推薦での就職がメインである感が致します。

学生の就職先の業種に関しては例年と大きな差はありませんでしたが、表3のように具体的な就職先は昨年と比べて同じ企業もありますが、半数以上が違ってきます。年初めからインターンシップや説明会に参加し、自分に合った企業を探しているように感じました。また、良きにつけ悪きにつけOB・OGの話に非常に影響を受ける傾向にあると思います。企業名だけにとらわれず自分の将来を考えて適する企業を探してほしいと思います。来年度就職活動をする際の参考にいただければと思います。

最後になりましたが、就職業務にご協力いただきました機械事務の皆様方はじめ関係の方々には、大変お世話になりました。この場をお借りして、深く感謝申し上げます。

表1.平成30年度卒業予定者・修了予定者の進路とりまとめ(平成31年1月現在)

●学域学生

	在籍者	卒業 予定者	就 職			進 学			その他	未 定
			企業	公務員・教員	計	本学	他大学	計		
機械工学課程	85	82	8	1	9	67	4	71	5	0

●大学院学生(博士前期課程)

	在籍者	修了 予定者	就 職			進学	研究生	その他	未 定
			企業	公務員・教員	計				
機械工学分野	56	56	50	2	52	3	0	1	0

表2.平成30年度卒業予定者・修了予定者(平成31年1月現在)

I. 卒業予定者〔機械工学課程〕

青島 猛弘	青山 周平	天見 優斗	荒堀 敦弘	安藤 宏樹	大谷誠一朗	池田 佑	井田 大貴
岩噌 諒	植田 瑛晶	上野 峻穂	後呂 憲太	大川 佑	大村 涼	岡 弘紀	岡村 洋明
緒方 悠祐	小川 領太	奥山 裕貴	尾本 千紗	亀井 利人	川崎 拓哉	河原 司	川森 飛翔
岸本 康平	桑田 哲志	小泉 有希	小林 慶太	櫻井 亮輔	佐藤 晃輔	佐野 祥太	渋谷 昌宏
眞海 勇輝	杉田 賢哉	厨子 裕太	高田 倫	瀧 航太郎	千種 成尚	中西 浩貴	中村 大亮
成田 允	西野 和希	長谷川周平	畠中 康成	篠福 亘	林 佑太郎	平野 壮太	藤田 雄也
藤田 龍平	藤原 一樹	眞鍋 徳理	水口 雄太	三宅 耕平	本西 泰大	百生 拓人	柳澤 一嘉
柳澤 真由	山内 克哉	山田 成哉	山田 竜也	山中 俊輝	山本 雄大	吉田 拓真	和田 賢伍
奥東 一貴	高 文超	小西 智	曹 礼禧	陈 义	船津 達矢	包 凌峰	蘭 慶明
秋山 拓也	荒井 公寛	宇野 雄紀	大森 一輝	長村 篤	野津斗輝也	呼 思楽	松村 匡樹
石橋 宏規	久松 裕介						

II. 博士前期課程修了予定者〔機械系専攻機械工学分野〕

五十嵐賢哉	池谷 亮介	岩崎 稜太	上田 直人	上田 将司	植西 宣仁	大瀧 悠裕	大辻 佳孝
岡崎 友紀	岡崎竜之介	沖山 大晃	蔭山 匡平	上澤上美里	亀井 啓史	河合 拓哉	河田 将志
木原 彬	桑木 雅史	齋藤 僚太	杉本 真	杉本 真隆	鈴木 康平	高橋 侑愛	高松 優行
竹山 吉洸	田中 勝也	田中 大喜	田中 大基	田中 耀喬	中田耕太郎	西岡 拓哉	西田 大
灰塚 興	馬場進之介	日野 宗壮	平野晋太郎	廣田 健之	藤木 謙太	藤原 宏彰	堀場 大生
前田 光毅	的野 光華	御沖佳一郎	水野 日向	三谷 俊貴	宮城 勇作	三輪 晃生	村松 直樹
大和 史明	山本健太郎	山本 翔也	吉田 拓	郎 鸛飛	西山 悠大	坂本 朋紀	白石 大和

III. 博士後期課程修了予定者〔機械系専攻機械工学分野〕

橋本 裕明	2019/3/31博士(工学)の学位取得予定
-------	------------------------

表3.平成30年度卒業予定者・修了予定者進路(平成31年1月現在)

●内定先

IDEC(株)	(株)イシダ	茨木市役所	(株)ウィルグループ	大阪府	オムロン(株)
川崎重工業(株)	(株)キーエンス	(株)共立合金製作所	(株)クボタ	コフロック(株)	(株)小松製作所
コマニー(株)	(株)ジェイテクト	滋賀県庁	(株)シマノ	(株)SCREENホールディングス	住友電気工業(株)
積水化学工業(株)	象印マホービン(株)	ダイキン工業(株)	ダイハツ工業(株)	TIS(株)	THK(株)
DMG森精機(株)	(株)デンソー	東海旅客鉄道(株)	東芝エネルギーシステムズ(株)	東ソー(株)	(株)トップエンジニアリング
トヨタ自動車(株)	中西金属工業(株)	パナソニック(株)	日立金属(株)	日立造船(株)	ピップシステムズ(株)
フューチャーアキテカ(株)	兵神装備(株)	本田技研工業(株)	(株)マキタ	マツダ(株)	三菱電機(株)
ヤマハ発動機(株)					

●進学先

本学大学院	京都大学	奈良先端科学技術大学院大学
-------	------	---------------

大阪府立大学を退職するにあたり思うこと

大多尾 義弘



大阪府立大学には大変お世話になりました。昭和48年(1973年)に、大阪府立大学工学部機械工学科に入学、昭和52年に卒業、その後昭和54年に工学研究科機械工学分野修士課程を修了しました。企業に5年、府立の研究所に10年、本学に25年、合わせて40年間の社会人としての人生を振り返り気づくままに書かせて頂きます。

機械工学科に入学したのは、機械が特に好きであったのではなく、機械工学ならば将来潰しがきくのではというくらいの気持ちでした。ただし、当時、設計という言葉には少し興味がありました。4年次の研究室配属の時、伝熱に興味がありましたので、伝熱関係の研究室にしようか迷っていました。その時、材料力学研究室に熱応力の世界的な研究者である竹内洋一郎先生が教授でおられました。図書館に著書「熱応力」を見に行き中を開けたとたん、小さな字で数式がいっぱい並んでいました。それを見た瞬間、その数式がとても美しいと思い、わたしもこんな研究がしたいと思いました。この1冊との出会いが私の将来に大きく影響することになりました。希望通り、材料力学研究室に入ることができ、卒論と修士論文のテーマは念願の熱応力の理論解析でした。3年間で数理解熱弾性論の虜になりました。それまで、勉強があまり面白いとは思っていませんでしたが、このとき研究することがなんと楽しいことかと思いました。毎日研究するのが楽しく入社式前日の3月31日まで研究室におりました。なお、直接の指導は、当時助手の谷川義信先生でした。

修士論文作成の2年間での印象に残った出来事についてお話いたします。1つ目の解析モデルにおいて数理解析を終え、FORTRAN言語で数値計算を行いましたが、なかなか思うような結果が出ませんでした。解析とプログラムを朝から晩まで何度も何度も見直し、1か月ほどたった頃、夢でうなされるようになりました。解析で使用したケルビン関数のいくつかの公式がまさか間違っているのではとふと思い、自分で確かめたところ、1か所符号が違っていました。その間違いを直すたびに思うような結果ができました。その時の衝撃は今でも覚えています。それ以来、書籍にのっている数学公式は鵜呑みにせず必ず自分で確認してから使うようにしており、自分の数学公式集を作っています。

企業から府立の研究所に移った理由は、強度に関するスペシャリストになれたかったためです。研究所では、試験片や製品の強度試験やX線応力測定などの依頼

試験、および技術相談などがメインでした。しかしどうしても学生時代にやっていた熱応力の理論研究がやりたくて、谷川義信先生に相談したところ、一緒に研究させて頂けることになりました。谷川先生の居室の一角に自分専用の机を用意してもらいました。研究所の良い点は残業がなく、有給休暇が取りやすいことです。研究を進めるためには計算機が必要ですが、研究所には使用できる計算機がありません。谷川先生の好意で、谷川先生の部屋にある端末から電話で音響カプラを通して大型計算機で計算することができました。ただし、平日の19時頃までしか使用できません。阿波座の研究所を定時に出て、大学に向かい、毎日少しずつプログラムを入力していたことを思い出します。当時の大型計算機はメモリも少なく計算の実行時間も限られており、今の計算環境とは大違いです。毎週土曜日の午後も研究所が終わってから大学に向かいました。研究所時代の後半は、当時の計算機センターに相談しに行き、正式に計算機が使えるようになりました。それ以降は出張で大学に来ることが可能になりました。何とか論文がたまり、大阪府立大学で工学博士の学位を頂きました。研究所時代ずっと谷川先生の研究室に自分専用の机を用意してもらうとともに、研究室ゼミや講座旅行にも参加させて頂きました。大変うれしかったです。

その後、谷川教授の機械応用力学研究室の助教授として採用して頂きました。大学院を修了する際、まさか大学の教員になるなんて思ってもみなかったことでした。ただ、大学に移ってから生活が一変し、最初は講義、学生実験、設計製図演習、学生の指導、分野内委員などで思うように研究が進まずどうなるのか心配でした。3年ほどしてから何とか論文も書けるようになりました。谷川先生から、論文は英文で書くようとの指示でした。なんとか頑張って、谷川義信教授の後任として、機械設計工学研究室の教授に昇任させて頂きました。学域(学部)の講義で、「機械設計」や「機械材料」を主に担当しておりましたが、企業や研究所での実体験が大変役に立ち、自信をもって講義を行うことができました。

最後に、定年まで働くことができ、これまで多くの方々にご指導、ご鞭撻、ご支援を頂き、誠にありがとうございました。ここに厚くお礼申し上げます。大学の4年次からずっとお世話になりました名誉教授谷川義信先生が昨年8月19日に永眠されました。ここに謹んでご冥福をお祈りいたします。

機械工学科同窓会 2018年度理事会

平成30年6月17日(日)の13:00より、大阪府立大学学術交流会館特別会議室において2018年度理事会を開催した。出席者は21名、委任状提出が12名であった。開会にあたり、藤田勝久会長より挨拶があり、会員・理事の日頃の同窓会への協力に対する感謝の意が述べられた。その後、下記の議題の審議を行った。

報告事項

1. 会報第38号発行について
会報担当理事より資料に基づき報告があった。
印刷部数4,400部、郵便送付部数3,754部。
2. 新入会員歓迎パーティー開催、学業優秀賞の副賞贈呈(2018.3.24)について
資料に基づき、大学院学業優秀賞2名、自動車技術会大学院研究奨励賞1名への副賞贈呈があったことが報告された。
3. 大阪府立大学校友会評議委員会報告について
専務理事より資料に基づき説明。平成29年度第1・2回の校友会評議委員会報告があった。
4. 学生の研究発表会出席への費用補助について
専務理事より資料に基づき、平成29年度の旅費補助(3件)の報告があった。
5. ロボコンクラブ活動報告・会計報告について
専務理事より資料に基づき、平成29年度の活動報告・会計報告について報告がなされた。
6. 2018年度ホームカミングデーの開催について
専務理事より説明がなされた。平成30年11月4日(日)12時から14時まで中百舌鳥キャンパス体育館にて開催予定。会費3,000円。

協議事項

1. 2017年度決算報告・監査報告について
会計担当理事から決算報告がなされ、監事(会計監査委員)より会計処理が適正に行われているとの報告があり、2017年度会計決算が承認された。
2. 理事の交替・新任について
専務理事より理事の退任(4名)と新任(3名)について提案があり、承認された。続いて、藤田会長より新会長に吉永洋一氏(工機13期)を推薦する提案があり、承認された。また、藤田勝久氏を名誉会長にすることを承認。
3. 次年度の活動について
近年の財務推移の資料を基に、次年度の活動について意見が交換された。収支のバランスを取るための様々な提案がなされ、具体策を議論するための検討委員会を設けることになった。
4. 第6回情報交流サロン会について
次回は秋に開催の予定で進めることになった。担当委員は北出篤夫氏(工機12期)。

理事会終了後、第25回総会、第5回情報交流サロン会、懇親会が開催され、盛会裏に終えた。

専務理事 大多尾義弘、菊田久雄

事務局日誌 (平成30年3月25日以降)

年月日	事項
平成30年 5月27日	大阪府立大学校友会理事会・評議委員会
平成30年 6月17日	機械工学科同窓会理事会 第5回情報交流サロン会
平成30年11月14日	第9回大阪府立大学ホームカミングデー

年月日	事項
平成30年11月24日	第6回情報交流サロン会
平成31年 3月 9日	大阪府立大学校友会理事会・評議委員会
平成31年 3月24日	機械工学科同窓会新入会員歓迎パーティー (学位記授与式、会報39号発行)

新入会員歓迎パーティーと 成績優秀者表彰

平成30年3月24日(土)の午後に、工学域・工学研究科の平成29年度学位記授与式が行われ、引き続き午後4時00分より、恒例の機械工学科同窓会新入会員歓迎パーティーが、B4棟で開催された。

同窓会からは、藤田勝久会長(工機12-S39)にご出席を賜り、専務理事菊田久雄教授の司会進行のもとで、藤田勝久会長挨拶の後、藤田勝久会長の乾杯の発声を皮切りに、盛況の内に歓迎パーティーが開催された。

また、パーティーに先立って、平成29年度の学域・大学院成績優秀者の表彰および副賞の記念品贈呈が、福田弘和准教授の司会により執り行われた。機械工学科同窓会からは、大学院学業優秀賞受賞者2名と、自動車技術会大学院研究奨励賞受賞者1名に副賞の記念品を贈呈した。

受賞者は以下のとおりであり、受賞された諸君の日頃の精進と努力をたたえる。

- 日本機械学会三浦賞(大学院)
機械工学分野: 谷口 文彦 君
- 大学院学業優秀賞(副賞:工学部同窓会並びに機械工学科同窓会)
機械工学分野: 佐野 太亮 君、奥田 勝也 君、津田 航志 君、長岡 宏樹 君
- 自動車技術会大学院研究奨励賞(副賞:機械工学科同窓会)
機械工学分野: 谷口 文彦 君
- 白鷺賞(学部)
機械工学課程: 池村 翔平 君
- 日本機械学会畠山賞(学部)
機械工学課程: 蒲ヶ原 光太郎 君

(専務理事 大多尾義弘)



ギア クラス会 短信

工機5期 同期会

昨年は戌年、われわれ同期の干支年であった。10月10～11日、愛知県犬山市内のユースホテルに九州、東京からも含め総員8名が2年ぶり、22回目の同期会を開催した。卒業時在籍者数78名の丁度10パーセントにあたる。

小雨の降る中、城下町をゆっくりと散策後、日本最古の天守がある国宝犬山城を見学した。忘れ物など年齢を感じさせることもあった。

8名全員が風呂場内で裸の懇親をし、同期の絆をいっそう強めたこと、アルコール量の少ないことが印象に残った。

夕食時や食後の部屋での懇親時、翌日の集会室では参加者や同期生の近況報告を紹介し、卒業アルバムの童顔写真や卒業後の同期会の記念写真をプロジェクターで投写しながら回顧したり、元教授、名誉教授の講演や会員の川柳の話などを拝聴した。

翌日の昼食は木曾川の屋形船上で犬山城を背

景に鮎料理を喫食した。一旦下船後、川岸で女性鵜匠の解説を聞いた後、昼鵜を船上から鑑賞した。

午後、来年の2020年オリンピック後の秋に再会を約し、犬山遊園地駅にて解散した。

次回には、記名入り卒業アルバムと卒業後同期会写真集をCDにまとめ、希望者に配布する予定です。

(今回、案内のなかった同期生で今後、参加・連絡を希望される方は吉田までお知らせ下さい)

(文責 吉田 俊樹)



左から 寺川 西 高原 村司 北川 佐藤 松岡 吉田

機械工学科6期同期会(33M会)(昭和33年卒)

平成30年5月23日、恒例となった33M会を大阪・梅田で開催しました。還暦の年に27名の参加者がありましたが、近年は減少して卒業60年目の今回は8名でした。

顔を合わせれば、青春時代へ半世紀以上を一気に遡り、何の気遣いもなく歓談できて、実に楽しい時間を過ごすことができます。

同じ機械の出身でも様々な道を歩み、その経験談は実に味わい深いものがあります。

“無病では話題に困る同期会”80才も半ばとなると誰もが経験豊富で、有益なアドバイスもあります。お互いに明るく元気に励ます会となりました。

毎年5月中ごろに、歩く距離の少ない梅田がんこOSで開いています。11月には、中百舌鳥でホームカミングデーに集まるチャンスもあります。

かけがえのない貴重なひとときに、これまで参加され

なかった方も、次回は是非ご参加をお待ちしています。

幹事:木嶋、大森、足立(記)



前列左より足立達也、庄司周介、木嶋恒孝、大森忠孝、島田瑛三、稲村曉一、岩井俊明、大石哲夫



ホームカミングデーにて前列左より大石哲夫、大森忠孝、足立達也、木嶋恒孝

工機8期クラス会(昭和35年卒)

我々のクラスは米国永住の内海君、韓国の趙君がいて、彼らが一時帰国または来日する時にはクラス会を開催して親交を深めています。平成30年は3回のクラス会を実施しました。しかし出席者が固定化されていることが気になります。

1.30年1月19日 神戸で新年昼食会を韓国より趙江来を迎え8名参加しました。

2.5月8日 姫路書写山圓教寺参拝と塩田温泉1泊旅行、米国よりの一時帰国内海君を迎え9名参加しました。

3.11月3日 2泊3日の済州島旅行し、趙夫妻の案内で甲斐夫妻など8名参加しました。(記 太田廣)



済州島にて 小菅 太田 趙(夫) 網嶋 須山 甲斐夫妻 趙(妻)

工機9期(昭和36年卒)同期会

このところ毎年続けている会を今年は平成30年10月11日にJR大阪駅のステーションビルの中華料理屋で開催した。

卒業時62名のメンバーのうち出席が12名といささか寂しかったが、出席者は全員心身ともに元気いっぱい。

学生時代の思い出話は少なく、趣味、健康法、社会貢献など現在の積極的、前向きな生活ぶりの話が多く、お互いに大いに刺激を受けた。

3時間充実した会合であった。

次回の予定は、年号が変わった10月10日(木)に阿倍野ハルカスで上田氏の幹事で開催することに

なった。一人でも多くの方のご参加を願っている。

(幹事 岩佐益男)



後列 徳岡清史 津田資雄 川畑明治 上林博 坂口彰 山畑利明 岩城嵩

前列 岩佐益男 中田紀夫 谷川十三夫 岡崎知夫 上田正雄

工機13期同期会

平成31年1月10日、例年通り京都宮川町で舞妓さん呼んで開催した。参加者は、入山・岡田(静岡)・佐藤+息子嫁・中尾(広島)・長野・林・東田・増田(初参加)・吉永・赤井・伊東(敬称略)の12名である。舞妓さんの踊りに加え、金毘羅船船等のお茶屋遊びに大いに盛り上がり、楽しい一時を過ごした。今後も同好会として、桜とお酒、奈良歴史探訪、大阪大衆芸能、京都トレール、京都再発見散策等の各種会合を計画している。

同期各位の積極的なご参加をお待ちしています。

(幹事:赤井・伊東)



叙勲・受賞ニュース

◆須賀一彦

2018年11月

日本機械学会流体工学部門2018年度部門賞

◆植西宣仁

第35回センシングフォーラム 計測部門大会ポスターセッション優秀発表賞

2018年8月

◆植西宣仁

平成30年度 計測自動制御学会関西支部・システム制御情報学会若手研究発表会優秀発表賞

2019年1月

◆福田弘和

日本生物環境工学会学術賞

2018年9月

◆堀場大生, 陳義

The 2nd Joint Symposium on Advanced Mechanical Science & Technology,
Excellent Poster Presentation Award

2018年11月

◆郎鵬飛

The 2nd Joint Symposium on Advanced Mechanical Science & Technology,
Excellent Poster Presentation Award

2018年11月

各期理事の選出についてのお願い(重要)

機械工学科同窓会では、会員各位の卒業期ごとに1名の理事を選出いただき、この理事によって組織される理事会で同窓会の運営を行っております。しかしながら、年月を経ることによって、理事を欠いたままの期が多数あり、現在、専務理事がその期の代理を務めています。本会報14ページの2018(平成30)年度役員名簿の氏名欄に「専務理事に委任」と記載されている期がこれに該当します。ご高齢により理事を担当することが難しいために専務理事に委任されている期もありますが、多くは理事の移転による連絡先不明、または理事退任のあと後任が選出されないままの状態によるものです。

期の理事を欠いたままでは、理事会等で会員皆様の意見を正しく反映させることが困難です。そこで、理事が不在の期の会員各位におかれましては、できるだけ新たな理事を選出の上、同窓会事務局までご連絡くださいますようお願い申し上げます。



谷川義信先生を偲んで

石原正行(1996年3月博士前期課程修了)

本学名誉教授の谷川義信先生におかれては平成30年8月19日にご逝去されました。先生を慕う教え子として、追悼の気持ちをもって谷川先生との思い出を振り返りたいと思います。

学部3年生までの一学生としての淡い関わりの後、4年生として先生の研究室に配属されたのが今日まで続く縁の始まりでした。当時の研究室は「機械第6講座」と呼ばれていました。先生は熱応力の理論的研究をされており、卒業生の方なら「第6講座と言えば数式まみれ」とのイメージをお持ちかもしれません。当時からアカデミックな雰囲気や憧れていた私は、そのイメージに惹かれて研究室の門を叩きました。柔和な谷川先生と(当時助手をされていた)河村隆介先生、そして先輩達の作り出す暖かい雰囲気や接するなか、研究室に入り浸りになるまで時間を要しませんでした。研究室での思い出と言えば研究活動が中心のほうですが、むしろその他の出来事の方が強く思い出されます。当時は求人活動で来訪した企業の方が、先生にビール券を渡していくことがよくあり、そんな時、先生は「皆んな、臨時収入(=ビール券)や。飲むか!？」と仰り、学生は近所の酒屋に走り、皆んなで即席の宴会をしたものです。そういうリラックスした時間のなかで、先生の飾らない人間性に接して、ますます先生の信奉者となってきました。お調子者だった私は、面前で谷川先生の物真似をしたことがあります。先生は笑いながら「うん、似てると思うよ」と仰ったことを、今となっては冷や汗をかきながら思い出します。

大学院を修了した後、私は他大学に助手として就職しましたが、なかなか仕事が上手く運ばず、適性のなさに思い悩み、しばしば「辞めたい」と思っていました。実際、転職のための行動を内密にっていました。そういう時期が数年間続くな

か、学会等でお会いした先生に弱音を吐いては、気持ちを楽にする言葉を頂いたことを思い出します。そんなこともあり、何とか職に踏みとどまり、その後は、先生のお仕事をお手伝いする機会にも恵まれ、今日の私があります。

先生がご病気を得られたのは2005年のことです。それにもかかわらず懸命に大学での職を全うされ、2007年3月に退職されました。その後は、養成期間を経て、ご自宅近所の烏帽子形八幡神社の宮司を、お亡くなりになる年まで勤められました。季節に一回程度の割合で、あるときは気分転換に、あるときは悩みを吐きに、私は個人的に神社を訪ねました。また、私が結婚するとき、先生が宮司として式を執り行ってくださったのは生涯忘れられない思い出です。さらには、前厄、本厄、後厄のお祓いと称しては同級生と神社を尋ねたものです。他の神社の場合とは違い、先生のご祈祷の時には特別に背筋が伸びたものです。そういう機会での先生の言葉をいま思い出すと、「関わった人達への感謝の念」が、明示的ではなく自然としみ出ているように思われます。

最後に先生にお会いしたのは、2018年の3月初旬でした。ご体調がすぐれないと伺い、ご自宅でお臥せってられる先生を見舞いました。人生の中で与えられたその時々役割を存分に果たしたことに納得されているように思われました。そして、ご自分の病状がどのようなものを理解され、運命を受け入れてられるように思われました。うかつに「お元気になってください」と言えなかったことを思い出します。

今までと変わらず今後も、「谷川先生ならこう仰るだろう」と折りにふれて思い出さずして。先生に心からの追悼の意を捧げたいと思います。

2017年度 決算報告書 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

■収入の部		単位:円	■支出の部		単位:円
1.前年度繰越金		22,412,341	1.会費		20,670
2.会費収入		1,208,000	年会費二重払い		0
年会費 小計	229件	458,000	終身会費二重払い		0
今年度	161件	322,000	振込手数料		20,670
新入会員	62件	124,000	その他(会費返金含む)		0
その他年度	6件	12,000	2.運営費		481,556
終身会費 小計	25件	750,000	人件費		69,600
一般	17件	510,000	旅費・交通費		0
新入会員	8件	240,000	通信費		1,857
会費超過分など	0件	0	印刷・事務用品費		1,078
3.会報収入	1件	64,800	会議費		0
広告料	1件	64,800	Web名簿製作・運営費、業務委託費		409,021
雑収入	0件	0	3.会報発行費		1,005,432
4.参加費収入	14件	42,000	編集印刷費		719,696
総会懇親会	14件	42,000	発送費		285,304
その他	0件	0	雑費		432
5.利息収入		1,780	4.事業費		800,501
定期預金		1,778	理事会・懇親会諸費		127,647
普通預金		2	新入会員歓迎会諸費		203,016
6.雑収入	7件	482,000	理事交通費		40,000
工学同窓会同時開催 事業援助金	1件	200,000	特別事業費		0
工学同窓会HP拡充費	1件	30,000	その他(ロボコン支援)		100,000
校友会支援金	1件	239,000	その他(情報交流サロン会講演料)		106,108
寄付(振込)	4件	13,000	その他(海外渡航費補助)		223,730
			5.雑支出		0
			慶弔費		0
			その他		0
			6.次年度繰越金		21,902,762
収入項目2~6の合計		1,798,580	支出項目1~5の合計		2,308,159
収入の部総計		24,210,921	支出の部総計		24,210,921

資 産 目 録 (2018年3月31日現在)

項 目	本年度	前年度
近畿大阪銀行普通	¥66,127	¥65,127
三井住友銀行普通	¥72,598	¥171,751
三菱UFJ銀行普通	¥6,020	¥120,281
郵便局	¥548,291	¥948,595
振込口座(会費)	0	0
振込口座(会報)	0	0
近畿大阪銀行定期	¥1,043,466	¥1,043,382
三井住友銀行定期	¥10,000,000	¥10,000,000
三菱UFJ銀行定期	¥10,000,000	¥10,000,000
現金	¥166,260	¥63,205
合 計	¥21,902,762	¥22,412,341

2017年度 会計監査報告

会計帳簿、証拠書類ならびに通帳を監査した結果、適正に執行されていたことを認めます。

2018年6月19日

会計監査 西川 嘉康 蒲生 恵司

機械工学科同窓会平成30年度役員名簿

期 - 卒業年	役職	氏名	期 - 卒業年	役職	氏名	期 - 卒業年	役職	氏名
大機1-S16		※委任	機機2-S23		※委任	工機30-S57	専務	菊田 久雄
大機2-S17		※委任	機機3-S24		※委任	工機31-S58		上田 隆美
大機3-S18		※委任	機機4-S25		※委任	工機32-S59		石川 猶也
大機4-S19	常務	塩田 治雄	機機5-S26		矢木原邦雄	工機33-S60		有蘭 祥一
大機II4-S20		※委任	機原1-S22	常務	岡崎 忠	工機34-S61		吉田 浩治
大機5-S20		※委任	機原2-S23		※委任	工機35-S62		田頭浩一郎
大機II5-S21		※委任	機原3-S24		※委任	工機36-S63		山本 敏之
大機6-S22		※委任	機原4-S25		大野 虎夫	工機37-H1		河村 隆介
大機II6-S22		※委任	機原5-S26		※委任	工機38-H2		木村 哲也
大機7-S23		細野 正守	機精4-S25		※委任	工機38-H2		吉満 信彦
大機II7-S23		粕井 寛	機精5-S26		香川 恭介	工機39-H3	監事	蒲生 恵司
大機8-S24		※委任	工機1-S28		有田 幹雄	工機40-H4		佐藤理州
大機9-S25		我谷 康之	工機2-S29	名誉会長	青木 正昭	工機41-H5		小林 靖弘
大機10-S26		※委任	工機3-S30		大野 茂夫	工機42-H6	庶務	石原 正行
大精1-S16		※委任	工機4-S31		※委任	工機42-H6		谷口 富洋
大精2-S17		※委任	工機5-S32	名誉会長	上田 仁	工機43-H7		松井 和昭
大精3-S18	常務	本田 宏	工機5-S32		中山 幸三	工機44-H8		馬場 正信
大精3-S18	顧問	藤原 啓	工機6-S33		※委任	工機45-H9	会計	水谷 彰夫
大精4-S19		※委任	工機7-S34	名誉会長	橋 覚雄	工機45-H9		田中 清広
大精5-S20		※委任	工機8-S35	会計	太田 廣	工機46-H10	庶務名簿	黒木 智之
大精6-S22		※委任	工機9-S36		谷川十三夫	工機46-H10		中村 泰浩
大精7-S23		※委任	工機10-S37		豊田 正喜	工機47-H11		藤田 久士
大精8-S24		※委任	工機11-S38	名誉会長	明石 博	工機48-H12		森数 洋司
大精9-S25		※委任	工機12-S39	名誉会長	藤田 勝久	工機49-H13		西海 博行
大精10-S26		※委任	工機12-S39	常務	北出 篤夫	工機50-H14		船越 裕二
大原1-S16		※委任	工機13-S40	常務	赤井 富一	工機51-H15		牧野 允人
大原2-S17		※委任	工機13-S40	会長	吉永 洋一	工機52-H16		藤枝 英樹
大原3-S18		※委任	工機14-S41		東野 耿二	工機53-H17		内田 陽介
大原4-S19		※委任	工機15-S42		井上 久弘	工機54-H18		田村 雄一
大原5-S20		※委任	工機16-S43		石川 皓一	工機55-H19		佐野 浩司
大原6-S22		※委任	工機17-S44		中馬 義孝	工機56-H20		松村 玲
大原7-S23		※委任	工機18-S45		坂田 克郎	工機57-H21		黒田 裕之
大原8-S24		高木 規雄	工機18-S45	名譽顧問	西川 嘉康	工機58-H22		野田 友彬
大原9-S25		※委任	工機19-S46		杉元 民夫	工機59-H23		荒金 恵美
大原10-S26		柴沼 元	工機19-S46	副会長	水谷 茂	工機60-H24		中村 大輔
大舶6-S22		※委任	工機20-S47	常務	政友 公平	工機61-H25		吉田 昂太
大舶7-S23		※委任	工機21-S48		脇谷 俊一	工機62-H26		光永 聖
大舶8-S24		※委任	工機22-S49		伊藤誠太良	工機63-H27		小田宗治郎
大舶9-S25		田中 整	工機23-S50		綾野 良孝	工機64-H28		津山 拓也
淀機1-S22		安藤 久	工機24-S51		樋口 豊満	工機65-H29		平野晋太郎
淀機2-S23		※委任	工機25-S52	専務	大多尾義弘	工機66-H30		未定
淀機3-S24		玉尾 匡	工機26-S53		河下 一成	大学院-S34		※委任
淀機4-S25		※委任	工機27-S54		古結 文司	大学院-S44		嶋橋 安廣
淀機5-S26		※委任	工機28-S55	常務	武田 郁夫	大学院-S56		石田 良平
機機1-S22	常務	村山 乾一	工機29-S56		上野 登			

機械工学科同窓会 会則

第一章 総 則

(名称)

第1条 本会は「大阪府立大学工学部機械工学科同窓会」と称する。

(目的) 本会は会員相互の親睦をはかり工業技術の発展に寄与することを目的とする。

(事業) 本会はその目的達成のため次の事業を行う。

- 第3条 (1) 総会の開催。
(2) 会員名簿および会報の発行。
(3) 科学・技術とその情報の交換。
(4) その他必要と認める事項。

(事務局)

第4条 本会は事務局を大阪府立大学工学部機械工学科内に置く。また理事会の承認を得て支部を置くことができる。

第二章 会 員

(会員の種類)

第5条 本会は下記の会員をもって組織する。

- (1) 母体校会員
◎官立大阪高等工業学校および官立大阪工業専門学校機械科、精密機械科、原動機械科、船用機関科 卒業生。
◎旧大阪府立淀川工業専門学校機械科 卒業生。
◎旧大阪府立機械工業専門学校機械科、原動機械科、精密機械科 卒業生。
(2) 浪大会員
◎浪速大学工学部機械工学科 卒業生および大学院修了者。
(3) 府大会員
◎大阪府立大学工学部機械工学科 卒業生および大学院修了者。
(4) 教職員会員
◎上記卒業生および修了者が所属する学科の現教職員および旧教職員。

第三章 役 員

(役員)

第6条 本会に次の役員を置く。

- (1) 会長(1名)、副会長(若干名)、専務理事(2名)、庶務理事(若干名)、会計理事(若干名)、常務理事(若干名)、監事(若干名)。
(2) 理事 原則として各科、各期1名 大学院修了者若干名。
(3) 上記の外に学内理事(若干名)を置くことができる。

(役員選出)

第7条 役員は以下の方法により選出する。

- (1) 理事は各科各期の推薦による。
(2) 学内理事は大阪府立大学在職会員から上記理事の推薦による。
(3) 会長、副会長、専務理事、庶務理事、会計理事、常務理事は理事の互選による。
(4) 監事は理事会で推薦し、総会の承認を得なければならない。

(役員任務)

第8条 役員の仕事は次の通りとする。

- (1) 会長は会務を統理し、この会を代表する。
(2) 副会長は会長を補佐し、会長が事故ある時は会長の職務を代行する。
(3) 専務理事は会務処理を掌る。
(4) 庶務理事は専務理事を補佐し、名簿の整理、会報の発行等の諸事務処理を掌る。

- (5) 会計理事は会計事務を掌る。
(6) 常務理事は会務を処理する。
(7) 理事は会務の企画立案をする。
(8) 監事は会計事務の監査を行い理事会および総会に報告する。

(役員任期)

第9条 本会の役員任期は2年とする。ただし改選期外の就任理事は次期改選期までとする。

第四章 特別会員

(特別会員)

第10条 本会に特別会員として名誉会長・相談役・顧問を置く。

(特別会員の推薦)

第11条 特別会員は以下の方法により選出する。

- (1) 名誉会長には会長経験者、相談役には副会長経験者および専務理事経験者を推され、理事会の議を経て総会に報告する。
(2) 顧問は会員中より推され、理事会の議を経て総会に報告する。

第五章 集 会

(定時総会)

第12条 定時総会は2年に1回行う。

(臨時総会)

第13条 臨時総会は理事会の決議により、または全会員の5分の1以上の請求があったとき会長が招集する。

(総会の決議)

第14条 総会の決議は出席者の過半数により成立する。

(理事会)

第15条 理事会は会務の遂行上必要と認めたととき、会長が随時招集する。

(理事会の決議)

第16条 理事会は理事全員の4分の1以上により成立し、決議は出席者の過半数により成立する。

第六章 会 計

(経費)

第17条 本会の経費は、年会費、終身会費、寄付金およびその他の収入をもってあてる。

(会費)

第18条 会費の種類は年会費と終身会費とし、それぞれの額は必要に応じて理事会の議を経て別に定める。既納の会費は還付しない。

(会計年度)

第19条 本会の会計年度を4月1日より翌年3月末日までとし、毎年度毎に会計監査を受け、会計報告および監査報告を次年度中に、何らかの方法で全会員に公表しなければならない。

第七章 付 則

(会則の改正)

第20条 この会則は総会において出席人員の3分の2以上の同意を得て改正することができる。

(会則の発効)

第21条 この会則は、平成4年5月30日をもって効力を生じる。

細 則

(会費)

- (1) 会費は下記に定める金額とする(昭和57年7月17日理事会)
年会費 2,000円
終身会費 30,000円
(2) 会費は教職員会員からは徴収しない。



海外派遣報告

私は2018年10月30日から11月2日にかけてアメリカ合衆国ハワイで開催された29th International Symposium on Transport Phenomena (ISTP29)に参加しました。ここに今回の海外渡航で経験したことをご報告いたします。

○発表準備

私にとって今回が初の英語でのプレゼンテーションの機会であったため、渡航の約1カ月前からスライドの構成等を指導教員と話し合い、綿密な準備を行いました。日本語でのプレゼンテーションであれば、発表のあらすじさえ決めればある程度即興で話すことができますが、英語となるとそうはいきません。発表原稿を用意し、英語の文書読み上げソフトを用いて発表練習を行いました。また、発表練習は英語のネイティブスピーカーの先生にもチェックしていただき、発表内容における文法のミスの修正や、細かいニュアンスをより良く伝えるための改良などを行いました。その後も研究室での発表練習や自主的な練習を繰り返し、本番に備えました。

○学会

学会1日目のイベントは午後の参加登録とレセプションパーティーのみでした。レセプションパーティーでは同行した先輩とともに、トルコとフィリピンから来た二人の学生と交流する機会がありました。そこでの話題は研究内容や将来の進路、ハワイでの食事など様々でした。彼らは研究に対して非常に熱心で、自身の研究について熱意をもって紹介する姿に大変刺激

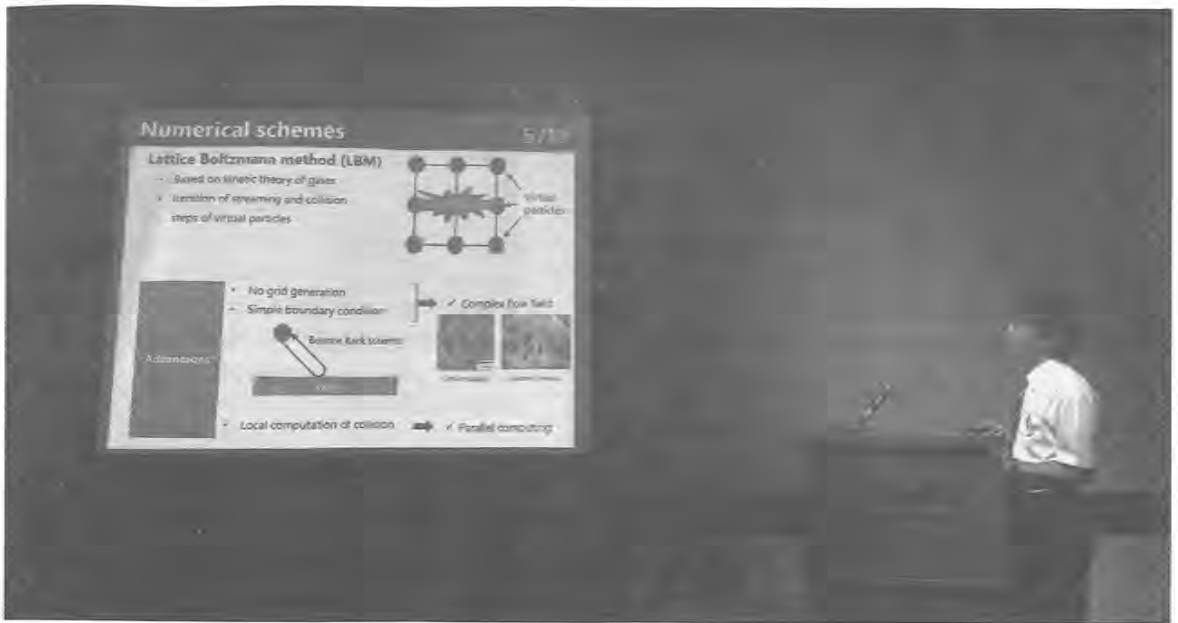
を受けました。一方で私は彼らの話す内容は概ね理解できたのですが、スピーキング能力が乏しく、自分自身の研究を満身に紹介することが残念ながらできませんでした。

学会2日目は午前中に3件の総会講演があり、海外の著名な先生方の最先端の研究発表を聴講することができました。講演内容と私の研究との間には接点が少なく、内容を完全に理解することはできませんでしたが、スライドの構成やプレゼンテーションの仕方などは非常に参考になりました。その後のテクニカルセッションでは国内外の様々な大学の研究発表を聴講することができました。その中でもウイスコンシン大の天野先生のご講演が非常に印象的で、抑揚がついてはっきりと聞き取りやすく、聴衆を意識した素晴らしいご講演でした。私もいつかはあれほどのレベルの発表ができるように精進しなければならぬと感じました。

学会3日目には自身の発表が控えていたため、2日目終了後はホテルで何度も発表練習を行いました。そして翌日の朝、発表前の最後の確認を行い、本番に臨みました。私の出番は朝一番の“Experimental / Computational Fluid Mechanics 3”というテクニカルセッションの“Numerical simulation of porous media on porous media by the conservative Allen-Cahn based phase-field LBM”というタイトルの講演でした。発表前には非常に緊張していましたが、練習の甲斐あって本番は落ち着いて発表することができました。発表の際には日本語英語であってもはっきりと大きな声で話すことを心がけました。発表そのものは概ね上手くいったのですが、問題はその後の質疑応答でした。質疑応答で挙がったのはほとんどが簡単な質問でしたが、私の英語力が乏しいせいで質問の意図を理解できていなかったり、答えられたとしても必要以上に時間を要したりと満足のいく対応ができませんでした。しかしながら私にとって初めての国際学会ということで、非常に刺激的な良い経験を積むことができました。



学会会場



発表の様子

発表後は引き続き様々な講演を聴講しました。ISTP29は輸送現象を幅広く取り扱う学会であるため、様々な話題に触れることができました。また、私の専門分野である混相流のセッションもいくつか開かれており、水中を気泡が上昇する際の自然対流熱伝達の研究や、加熱された基盤に吹き付けられた液滴の挙動に関する研究など、様々な興味深い講演を聴講することができました。

○学会終了後

学会は11月2日の午前を終了し、あとは帰国するのみとなりました。帰りの飛行機は翌3日の朝でしたので、2日の午後は歴史の勉強と観光を兼ねて真珠湾にある“World War II Valor In The Pacific National Monument”に行きました。ここでは1941年の真珠湾攻撃で撃沈した戦艦アリゾナの記念館や、第二次世界大戦のドキュメンタリー映像を見ることができました。日本国内の施設では往々にして日本人の視点から見た戦争が語られますが、このモニュメントではアメリカの人々が戦争に対してどのような認識を持っているか知ることができ、非常に新鮮でした。

○最後に

今回の海外渡航では国内外の研究者たちの研究に対するモチベーションや問題解決に向けた取り組みについて知ることができました。また、自分の研究を他人に分かりやすく伝える能力の重要性と、その難しさ、ならびに英語でのコミュニケーション能力の重要性を再認識しました。また、日本では直接知ることのできない外国の風土や文化、歴史に触れることができたのも非常に良い経験でした。今回の国際学会で得た知識や経験を糧に今後も研究に勤しんでいきたいと思えます。

今回、このような貴重な機会を与えてくださった須賀教授、金田准教授、桑田助教ならびに機械工学科同窓会の皆様には厚く御礼申し上げます。



World War II Valor In The Pacific National Monument 入口

◇ H30年物故者リスト ◇

大機S16	山本 淳一(永井)	0000-00-00	機機S25	上田 正彦	2017-10-00
大機S17	塚本 勇	2017-08-08	機機S25	真殿 和治	2017-12-22
大機S18	橋本 恭二	2016-02-28	機機S26	飯田 孝廣	2017-00-00
大機S18	林 秀夫	2016-04-28	機原S23	金子 正吾	2018-02-14
大機S20	岡崎 博哉	2017-06-00	機原S25	川口 節巳	2018-03-00
大機S20	福地 卓也	2017-10-03	機原S25	三浦 孝夫	2017-04-00
機2S22	浜本 正	0000-00-00	機原S26	大西 直次	2013-06-13
大機S23	中野 正吉	2017-08-29	機精S26	香川 恭介	2018-07-08
大機S26	玉置 秀夫	2018-03-08	工機S29	宮田 良彦	2017-00-00
大精S20	関谷 俊郎	0000-00-00	工機S30	福田 永三郎(山本)	0000-00-00
大精S22	山下 登	2017-05-06	工機S30	藤井 祥男	2015-12-00
大精S25	藤田 富雄	2016-00-00	工機S33	三宅 栄一	2010-03-11
大原S17	笹原 安市郎	1999-01-16	工機S34	若林 秀俊	2015-10-19
大原S25	山中 道夫	2016-09-12	工機S36	武田 正行	2017-00-00
大原S25	山本 雅美	2017-05-17	工機S39	松永 速	2015-05-11
大船S23	森下 芳男	2018-03-27	工機S42	仲谷 仁志	2018-03-00
大船S23	吉川 四郎	2017-05-29	工機S48	笠井 博幸	0000-00-00
淀機S24	高上 慶美	2015-09-19	修機S41	吉岡 秀興	0000-00-00
淀機S26	西出 裕	0000-00-00			
機機S23	荻野 和己	0000-00-00			
機機S23	武村 梧朗	0000-00-00			
機機S24	高垣 浩	2018-12-00			

各期理事の選出についてのお願い(重要)

機械工学科同窓会では、会員各位の卒業期ごとに1名の理事を選出していただき、この理事によって組織される理事会で同窓会の運営を行っております。しかしながら、年月を経ることによって、理事を欠いたままの期が多数あり、現在、専務理事がその期の代理を務めています。本会報15ページの2017(平成29)年度役員名簿の氏名欄に「専務理事に委任」と記載されている期がこれに該当します。ご高齢により理事を担当することが難しいために専務理事に委任されている期もありますが、多くは理事の移転による連絡先不明、または理事退任のあと後任が選出されないままの状態によるものです。

期の理事を欠いたままでは、理事会等で会員皆様の意見を正しく反映させることが困難です。そこで、理事が不在の期の会員各位におかれましては、できるだけ新たな理事を選出の上、同窓会事務局までご連絡くださいますよう、お願い申し上げます。

特許・意匠・商標の出願・審判・訴訟・PCT出願

中谷特許事務所

弁理士 中谷 武嗣 (昭和42年卒)

〒530-0003 大阪市北区堂島1-6-20 堂島アバンザ6F

電話 大阪 (06) 6344-0177 FAX. (06) 6348-0927

URL <http://www.nakatani-pat.com>

会員限定 マイページについて

- 最新の会員名簿が閲覧できます。(公開している方のみ)
- 住所登録情報の確認や更新ができます。

会員様からお預かりしている個人情報を、よりセキュリティの高い環境に一元管理しております。

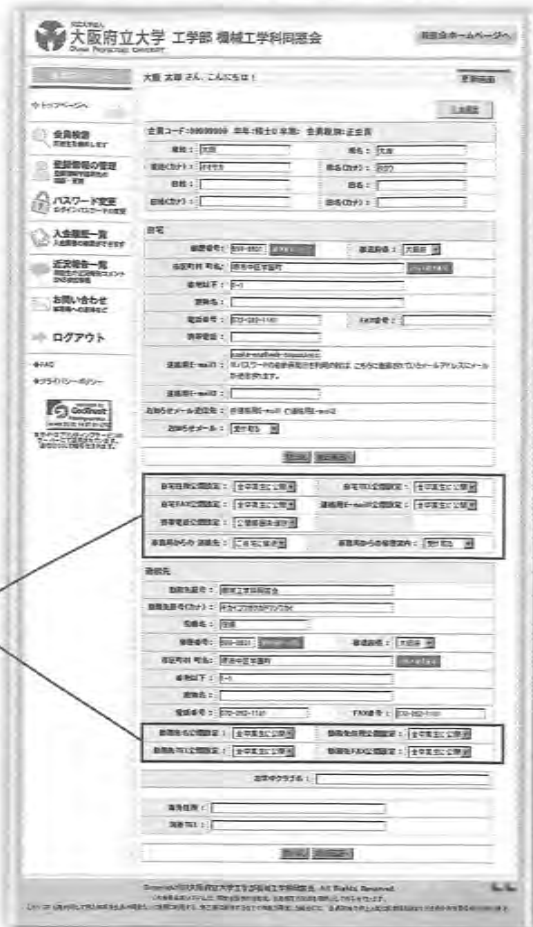
マイページへのログイン

- 宛名用紙にIDおよびパスワードが記載されています。
- IDとパスワード管理は充分にご注意ください。
- IDパスワードが分からない場合または紛失された場合は、下記のお問合せ先まで御連絡ください。



個人情報変更ページ

- 住所変更の際は、こちらから変更をお願いします。



自宅住所や電話番号、勤務先の情報の公開範囲を指定してください。

会員の皆様へのお願い

新しいホームページをより一層活性化するために、より多くの情報を迅速にお伝えし、会員の皆様に幅広く利用していただけるようにしていきたいと考えております。

クラス会の開催告知から報告や、さまざまな活動報告の場にしていきたいと考えております。そのためには、幅広く情報提供をお願いいたします。(内容により掲載できない場合はご容赦ください。)

- その他の機能 ●IDパスワードの変更 ●入金状況の確認 ●近況報告機能

お問い合わせ先

大阪府立大学 工学部 機械工学科同窓会ホームページ 管理・運営サポート
E-mail:osaka-eng@web-dousoukai.com

有限会社プリンティングサービス

538-0043 大阪市鶴見区今津南2-7-6 TEL.06-6969-8111 FAX.06-6969-8112

http://www.printing-s.jp/ 営業時間:9:00~17:45(月~土)



発行所

大阪府立大学工学部 機械工学科同窓会

事務局：〒599-8531 大阪府堺市中区学園町1-1

大阪府立大学 工学部 機械工学科 内

印刷所

(有)プリンティングサービス

■ 機械工学科同窓会事務局からの依頼事項

会員の異動等に関する同窓会事務局への連絡については、下記までお問合せください。

大阪府立大学 工学部 機械工学科同窓会運営サポート E-mail : osaka-eng@web-dousoukai.com

有限会社プリンティングサービス

〒538-0043 大阪市鶴見区今津南2-7-6 TEL.06-6969-8111 FAX.06-6969-8112 <http://www.printing-s.jp/>

営業時間 / 9:00 ~ 17:45 (月~土)